



環境未来都市2050
KOKA CITY

地域脱炭素マッチングイベント (滋賀県甲賀市)





環境未来都市2050
KOKA CITY

もくじ

1. 甲賀市の概要
2. 脱炭素化に向けた取組
3. 脱炭素化に向けた課題及び求める提案
 - ① 公共施設への再生可能エネルギーの導入
 - ② 営農型ソーラーシェアリングの導入
 - ③ 市内事業者の脱炭素化加速に向けた取組

1. 甲賀市の概要



環境未来都市2050
KOKA CITY



◆位 置 滋賀県の南東部

◆面 積 481.62km²

◆人 口 87,198人

◆世帯数 38,271世帯

(令和7年6月末現在)

◆農 業 農用地 4,780ha
遊休農地 261ha

◆工 業 工業製品出荷額が
17年連続で滋賀県1位

◆特産品等 信楽焼、茶、薬、忍者

2. 脱炭素化に向けた取組

甲賀市環境未来都市宣言 2022年9月



第72回全国植樹祭



2022年6月



甲賀市環境未来都市宣言

～ ゼロカーボンシティへ オール甲賀の挑戦 ～

地球温暖化による異常気象により、世界中で深刻な自然災害が発生し、温室効果ガスの排出抑制が喫緊の課題になっています。国においても、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルをめざしています。

鈴鹿山系を望む丘陵地にある甲賀市は、野洲川・杣川・大戸川沿いに文化が発展し、広大な森林は琵琶湖の水源涵養、水質保全にも重要な役割を果たしています。この豊かな自然環境のもと、忍者、信楽焼、東海道、お茶、薬などの歴史や産業が調和しながら発展してきたまちです。

これまで、全国に先駆けた生ごみ堆肥化事業や地域での清掃活動などを通じて、市民一人ひとりが身近なところから環境に優しいまちづくりに取り組んできました。

今を生きる私たちは、豊かな自然を守り、環境と経済・社会活動が調和した持続可能なまちを、未来の子どもたちに引き継ぐため、次の挑戦を行います。

- 【挑戦1】 再生可能エネルギーを軸としたエネルギーシフト
- 【挑戦2】 エネルギーと農林水産物の地産地消
- 【挑戦3】 豊かで健康な森づくり
- 【挑戦4】 環境に配慮した住みやすいまちと災害に強いまちづくり
- 【挑戦5】 環境を意識した行動ができるひとづくり

2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティ、「環境未来都市」をオール甲賀で実現することをここに宣言します。

令和4年（2022年）9月30日

甲賀市長

岩永 裕典

甲賀市議会議長

田中 喜克

甲賀市地球温暖化対策実行計画を策定

2024年3月

区域施策編 2030年度に2013年度比50%削減
事務事業編 2030年度に2013年度比51%削減



議会との共同宣言



環境未来都市2050
KOKA CITY

めざす環境像

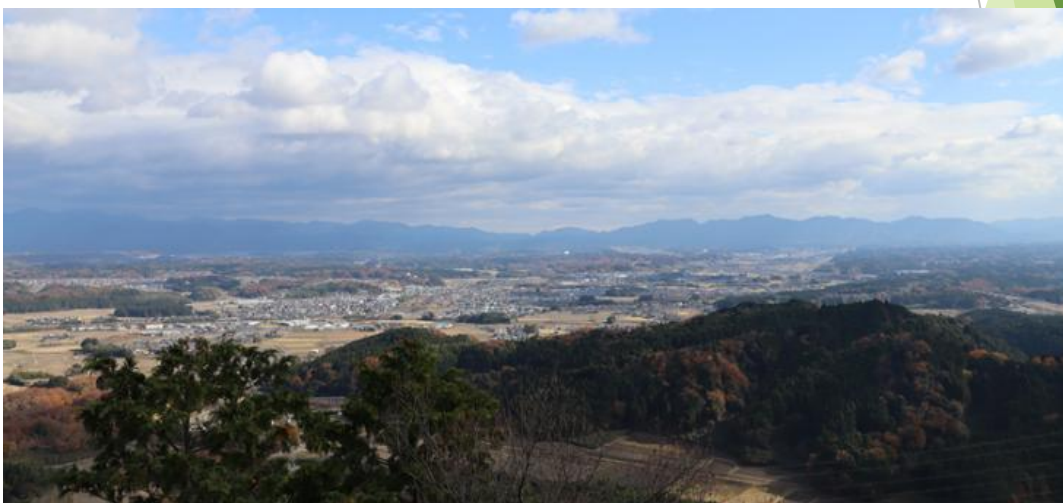
豊かな自然とうるおいある暮らしを
未来につなぐ 美しい甲賀

環境と経済・社会活動が調和した持続可能なまち
「環境未来都市・甲賀」

愛称 **ニジッキー**



環境未来都市2050
KOKA CITY



3. 脱炭素に向けた課題及び求める提案



環境未来都市2050
KOKA CITY

① 公共施設への 再生可能エネルギーの導入



② 営農型 ソーラーシェアリングの導入



③ 市内事業者の脱炭素化 加速に向けた取組





環境未来都市2050
KOKA CITY

①公共施設への再生可能エネルギーの導入

【課題・背景】

施設の電力需要量や設置可能な面積などを基に、太陽光発電設備の導入可能性について調査し、PPA方式を含めた再生可能エネルギー導入の検討を進めているが、多くの施設において経済的メリットを見出しにくく、加速的な導入が難しい。

また、行政として率先して脱炭素化を進める必要があるが、効果的・効率的な手法の確立に苦慮している。



【求める提案】

- ・地球温暖化対策実行計画の目標達成に向け、加速的に再生可能エネルギー設備を導入するための提案
- ・公用車のEV化や公共施設のZEB化を推進する提案





環境未来都市2050
KOKA CITY

②営農型ソーラーシェアリングの導入

【課題・背景】

市内の農地面積4,780haのうち遊休農地は261ha（2024年）となっている。高齢化や担い手不足などにより、この遊休農地は、5年前と比べ約1.2倍となっている。

農地の再エネポテンシャルは高いが、減収（収穫）への懸念や農作業の効率化などからソーラーシェアリングが普及していない。



【求める提案】

- ・減収や作業効率を考慮したソーラーシェアリングの実現や遊休農地の活用による農地再生など、農業と両立し、農業振興につながる本市の実情に応じた提案





環境未来都市2050
KOKA CITY

③市内事業者の脱炭素化加速に向けた取組

【課題・背景】

市域の温室効果ガス排出量の52%を産業部門が占めている。

脱炭素化の取組を進めているものの、更なる対策について苦慮されている事業者も多い。一方、事業者によっては取組が進んでいない状況にある。



【求める提案】

- ・ 温室効果ガス排出量の半数を占める産業部門の脱炭素化を推進するための提案
- ・ 事業者の自主的な行動を促す取組の提案





環境未来都市2050
KOKA CITY

令和7年（2025年）10月24日

滋賀県甲賀市

市民環境部 環境未来都市推進室

Tel : 0748 - 69 - 2156

Mail : koka10206000@city.koka.lg.jp

